

フード・コミュニケーション・プロジェクト（FCP）  
第2回つながる会議  
FCPって何をやっているの？  
～「FCPの基礎を学んでネットワークに参加しよう」～

## 議事次第

日 時：平成27年10月30日（金） 13:00～16:30

場 所：東産業会館（船場センタービル4号館3階）

## 議事次第

- |                                                  |             |
|--------------------------------------------------|-------------|
| 1. 開会挨拶                                          | 13:00～13:05 |
| 2. フード・コミュニケーション・プロジェクト（FCP）概要                   | 13:05～13:20 |
| 3. フード・コミュニケーション・プロジェクト（FCP）<br>ワークショップ          | 13:20～15:00 |
| ※実際にベーシック16、展示会・商談会シートへの記入作業（50分）を含む             |             |
| 休憩                                               | 15:00～15:10 |
| 4. グループディスカッション                                  | 15:10～16:25 |
| 論点：<br>・ワークショップで完成させたシートの相互評価<br>・FCP活動で今後やりたいこと |             |
| 5. 事務局連絡                                         | 16:25～16:30 |

## 配布資料

- 資料1：第2回つながる会議 次第（本紙）  
資料2：第2回つながる会議 参加名簿  
資料3：フード・コミュニケーション・プロジェクト（FCP）概要  
資料4：フード・コミュニケーション・プロジェクト（FCP）ワークショップ  
資料5：FCP企業力アップ プログラム 「プログラムI」  
資料6：ベーシック16  
資料7：FCP共通工場監査項目 指摘事例集（事例で学ぶ工場監査）  
資料8：展示会・商談会シート

## 平成27年度 「つながる会議」 第2回 参加者名簿

2015.10.30 (金) 13:00~16:30

No.	企業名	No.	企業名
1	アサヒフーズ株式会社	21	中上食品衛生研究所
2	アサヒフーズ株式会社	22	日本ピュアフード株式会社
3	伊藤ハム株式会社	23	B S Iグループジャパン株式会社
4	特定非営利活動法人インターナショナル	24	広島惣研株式会社
5	特定非営利活動法人インターナショナル	25	広島惣研株式会社
6	株式会社エム・アイグッドフェローズ	26	ブランケネーゼ株式会社
7	大塚製菓株式会社	27	株式会社 ペスカリッチ
8	花王株式会社	28	三菱商事株式会社
9	カタギ食品株式会社	29	明宝特産物加工株式会社
10	環境電子株式会社	30	モーションマインド
11	キューピー株式会社	31	有限会社山勝 関戸商店
12	京つけもの川久 北尾商店	32	株式会社ユー・エス・ジェイ
13	近畿農政局	33	株式会社ライフコーポレーション
14	近畿農政局	34	
15	NPO法人 近畿H A C C P実践研究会	35	
16	株式会社 シマナカ	36	
17	株式会社 関司穀粉	37	
18	株式会社デリコ	38	
19	デルタトラックジャパン株式会社	39	
20	1031ビジネスコンサルティング	40	

## &lt;事務局&gt;

No.	企業名	No.	企業名
1	農林水産省 食品企業行動室長	6	
2	農林水産省 食品企業行動室	7	
3	農林水産省 食品企業行動室	8	
4	農林水産省 食品企業行動室	9	
5		10	



# フード・コミュニケーション・プロジェクト（FCP）

## 概要

～FCPの基本～

2015.10.30

### 農林水産省

食料産業局 食品製造課 食品企業行動室  
フード・コミュニケーション・プロジェクト事務局

Copyright (C) 2015 MAFF All Rights Reserved.

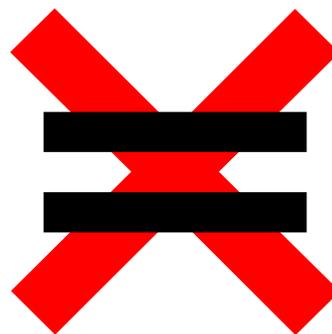
1

## 食品についての「安全」と「安心」の関係



# 「安全」と「安心」

安 全

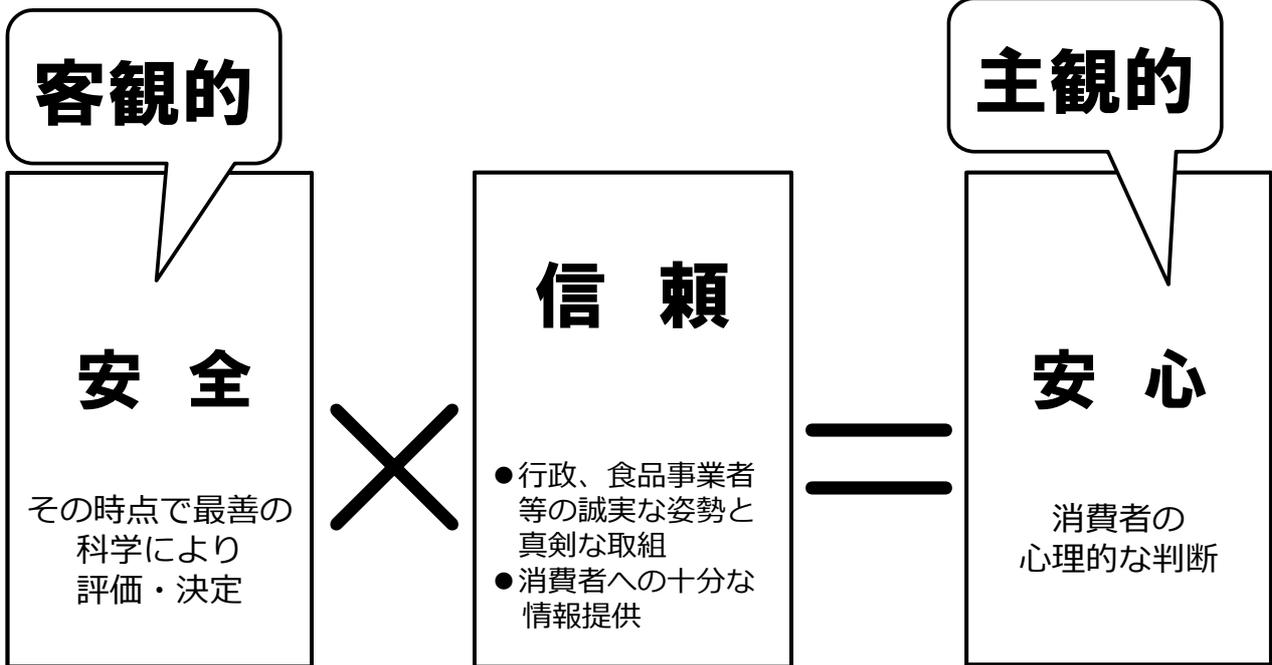


安 心

Copyright (C) 2015 MAFF All Rights Reserved

2

食品についての「安全」と「安心」の関係



事業者の皆様が抱えている課題

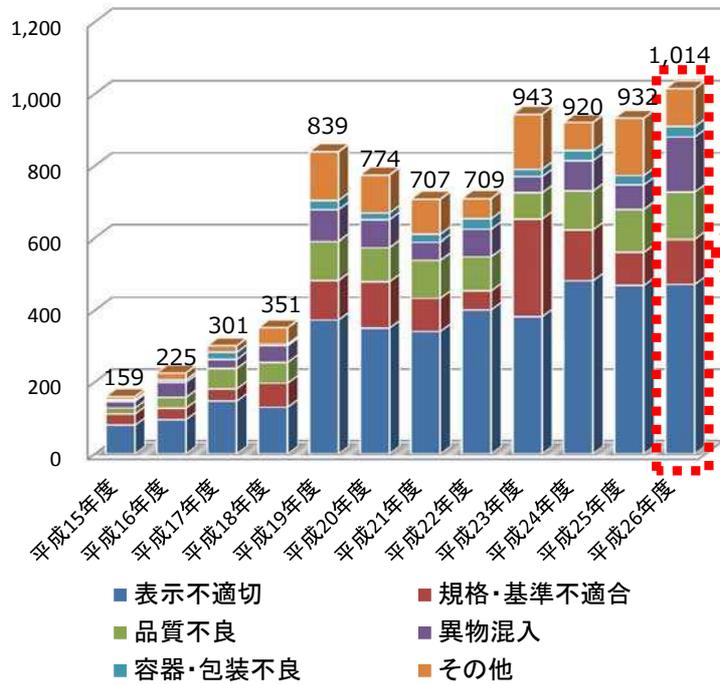
近年の主な食品に関する事件・事故

時期	概 要	関係法令
H23.4	・加熱用食肉をトリミング等をせずに生食(ユッケ)として提供し、集団食中毒(O111)が発生	食品衛生法
H23.8	・以前にも基準を上回る最近の数値が出ており保健所の指導を受けていたが、その後も消毒液に管理が徹底されておらず、白菜の浅漬けを原因とした集団食中毒(O157)が発生	食品衛生法
H25.9	・中国産米や加工用米を国産主食用米として、弁当・おにぎりメーカーに販売	JAS法他
H25.10	・ホテルや百貨店のレストラン等で、メニュー表示と異なる食材を使用して客に料理を提供	JAS法・食糧法 米トレーサビリティ法
H25.12	・工場の従業員が工場製造の冷凍食品に農薬のマラチオンを混入	食品衛生法・刑法
H26.7	・中国上海の食品事業者が製品の製造過程において使用期限切れの原料鶏肉を使用が発覚	(食品衛生法)
H26.7	・ベトナムの冷凍シヤモの容器内に異物混入(糞、殺鼠剤)	(食品衛生法)
H26.8	・通常の和牛を、松坂牛・佐賀牛と虚偽のメニュー表示	景表法
H26.12	・冷凍パスタにゴキブリと見られる虫が混入との申出を受け自主回収を開始	
H26.12	・カップ焼きそばの製造過程での虫の混入の可能性が否定できないとして商品の回収・生産停止を公表。12月2日にゴキブリが混入しているとして購入者がツイッターに情報掲載	
H27.1	・ナゲット等で異物混入4件を公表(プラスチック片1件、ビニール片2件、人の歯1件と原因の共通性は無し)	

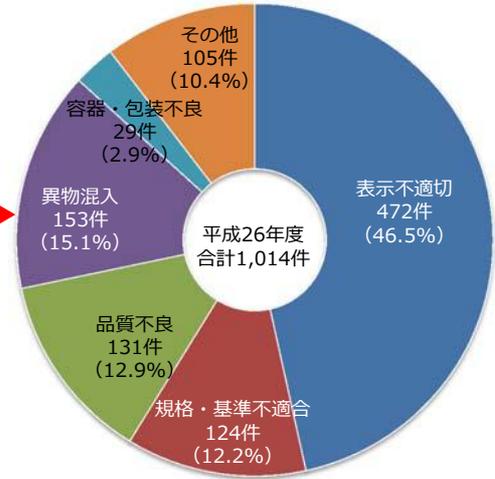
## 事業者の皆様が抱えている課題



### 食品自主回収件数推移(年度別)



○食品自主回収の要因別内訳(平成26年度)



Copyright (C) 2015 MAFF All Rights Reserved

## フード・コミュニケーション・プロジェクト(FCP)発足



信頼 結ぶ ネットワーク



平成20年6月  
FCP (フード・コミュニケーション・プロジェクト) 発足

Copyright (C) 2015 MAFF All Rights Reserved

## フード・コミュニケーション・プロジェクト(FCP)とは？



# Food Communication Project (FCP)

フ ェ ッ ド ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ・ プ ロ ジ ェ ク ト (エフシーピー)

食品事業者の意欲的な取組の活性化を通じて、消費者の「食」に対する「信頼」を向上させるために、農林水産省が、食品事業者や関連事業者と「協働」で活動しているプロジェクト

農林水産省 食料産業局 食品製造課 食品企業行動室に事務局があります

## フード・コミュニケーション・プロジェクト(FCP)情報共有ネットワーク



消費者の「食」に対する信頼を高めることを目的として、農林水産省が提供するプラットフォームの下に、食品関連事業者が主体的に食品の安全、消費者の信頼確保のための取組等を進めるプロジェクト。

### FCP【情報共有ネットワーク】

- FCPでは、情報共有ネットワークを作成し、食品安全、品質管理、取引先や消費者への情報提供等について標準化・共有化するとともに、人材育成支援や関係者間の情報共有を行っています。

食品関連事業者:1,778社/団体が参画(H27.10.5時点)

フードチェーンの各段階の事業者・団体

農林水産省:プラットフォームの提供



★ 工場監査項目等の共有化・標準化等の取り組みを通じて、**社内の人材育成に活用**

## FCP活動のねらい

### 目標

- 消費者の信頼向上
- 食品安全の向上・食品事故の減少
- 企業コンプライアンスの向上
- 取引の活発化

中小事業者を含めた  
取組の強化

FCP参加事業者間の意見交換、  
重要な課題に関する情報共有



## FCPの目指す姿 フードチェーン全体での「食」の信頼確保ための取組





Copyright (C) 2015 MAFF All Rights Reserved

### FCP活動の基本「協働の着眼点」

消費者の信頼を上げていくために着目すべき

### 「食品事業者の行動のポイント」

「協働の着眼点」を食品事業者が活用し、自ら透明性を高める努力が、取引先や消費者からの評価に

**ベースとなる価値観と行動**

<b>1</b> お客様を基点とする企業姿勢の明確化	<b>2</b> コンプライアンスの徹底	
<b>社内に関するコミュニケーション</b>	<b>取引先に関するコミュニケーション</b>	<b>お客様に関するコミュニケーション</b>
<b>3</b> 安全かつ適切な食品の提供を するための体制整備	<b>7</b> 持続性のある関係の ための体制整備	<b>10</b> お客様とのコミュニケー ションのための体制整備
<b>4</b> 調達における取組	<b>8</b> 取引先との公正な取引	<b>11</b> お客様からの信頼の 構築、管理及び育成
<b>5</b> 調達における取組【納品】 管理・共に進める取組【納品】 管理・進捗を促す取組【納品】	<b>9</b> 取引先との情報共有、 「協働」の取組	<b>12</b> お客様への情報提供
<b>6</b> 販売における取組		<b>13</b> 業務の推進

**緊急時に関するコミュニケーション**

<b>14</b> 緊急時を想定した 自社体制の整備	<b>15</b> 緊急時の自社と取引先と の協力体制の整備	<b>16</b> 緊急時のお客様とのコミュニ ケーション体制の整備
-------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------------

Copyright (C) 2015 MAFF All Rights Reserved

## 企業・商品の「見える化」のためのFCPツール



### ● ベーシック16・協働の着眼点

食品事業者が取り組むべき事項。業務を振り返り自社の体制強化につなげたり、取引先の状況を確認する。



### ● FCP共通工場監査項目

工場監査を行う側・受ける側の双方にとって対応の効率化を図るため、監査のチェック項目を共有化。



### ● FCP展示会・商談会シート

「出展者」の効率的・効果的な商品の売込みと、「購入者」の効率的な商品発掘のための統一フォーマット。

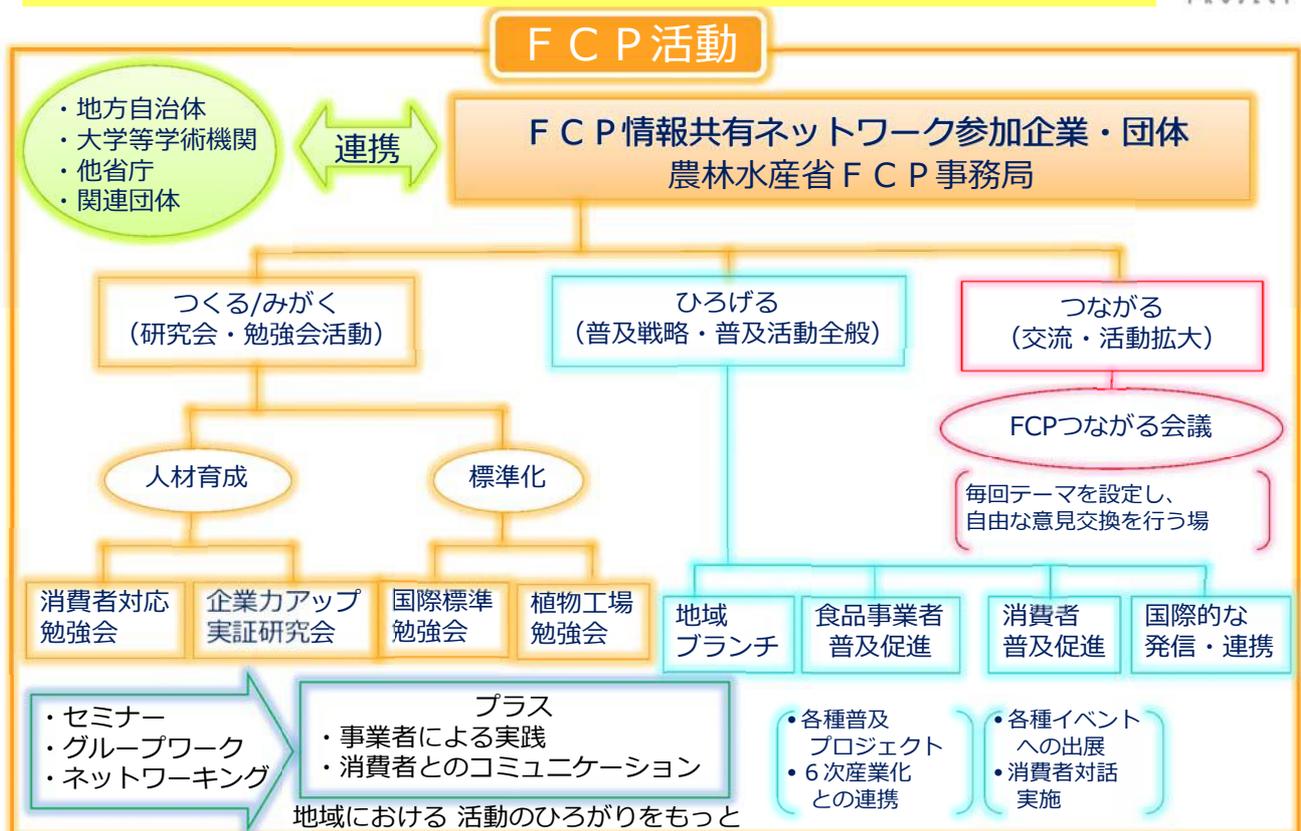


### ● FCP企業力アッププログラム

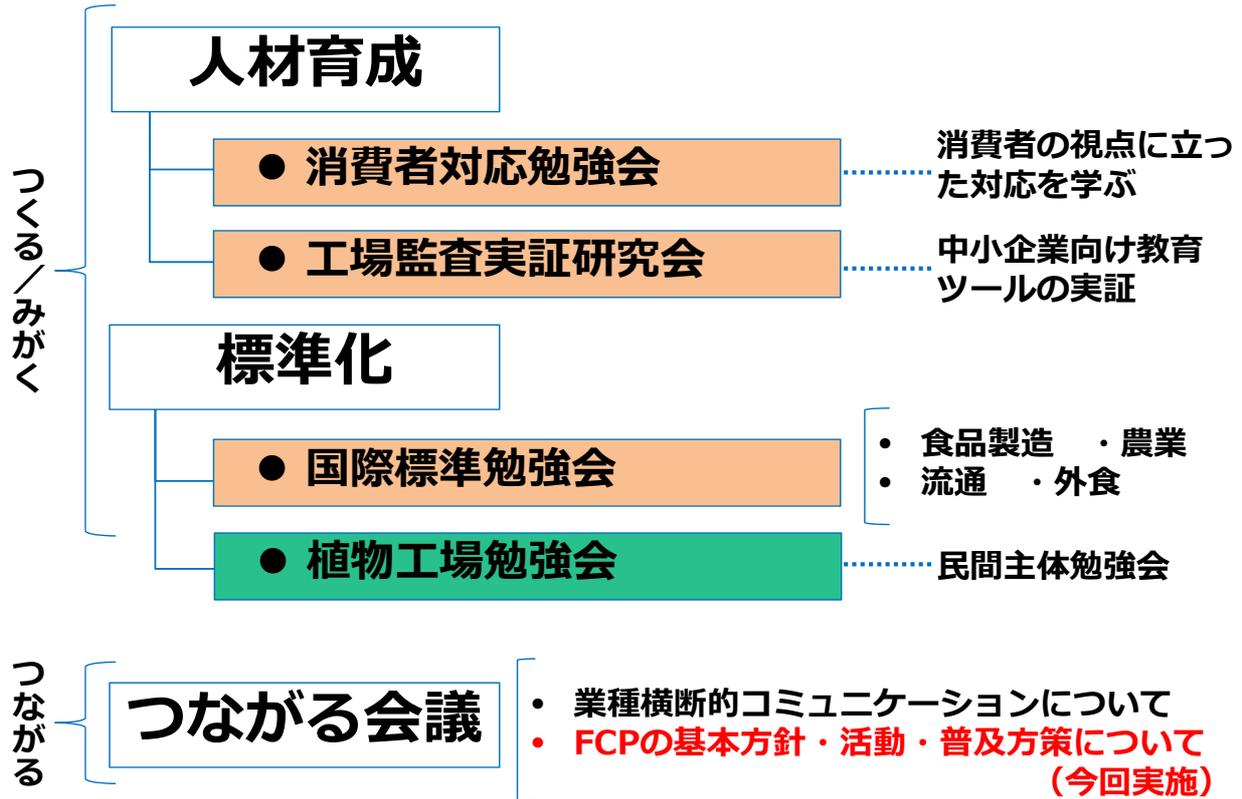
企業活動全般の改善、事業展開のためのトレーニングツール。等



## 平成27年度FCP活動 全体図



平成27年度FCP活動 研究会・勉強会 概略



Copyright (C) 2015 MAFF All Rights Reserved.

平成27年度FCP活動 研究会・勉強会 スケジュール



	平成27年					平成28年						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
I		← 現地監査 →		① (7/21)			← 現地監査 →			②		
II	FCP 活動 説明会		① (6/5)		② (8/25)	③ (9/29)	④ (10/23)		⑤ (12/3)		FCP 成果 報告会	
III		① (5/28)			② (8/4)	③ (9/11)		④		⑤		
IV					① (7/17)			② (10/30)		③ (未定)		
V			① (6/12)				② (9/1)		③ (11/6)			④

(○ 囲み 数字は開催回数)

- I 工場監査研究会
- II 消費者対応勉強会
- III 国際標準勉強会
- IV つながる会議
- V 植物工場勉強会

※ このほか、FCP活動として、食育推進全国大会(6/20~21)、子ども霞ヶ関見学デー(7/29~30)に参加。

## 各勉強会の様子

◎基本のながれ



講師から  
さまざまなテーマで  
講義をいただき・・・  
【情報共有】



グループで  
ディスカッション  
します。

発表を通じて  
意見交換



## FCP活動の様子

◎FCPでは、こんなことも・・・



実際の  
工場チェック



食料産業局長  
からの表彰

工場監査実証研究会

つながる会議



各種イベント  
への出展



子ども霞が関見学デー

食育推進全国大会

## 地域ランチ活動

地域独自の課題についてFCPの考え方やツールを活用して取り組み、地場の食品産業の活性化につなげる。（現在14県が参加）

